

## 「公共関与事業推進会議」検討結果の知事報告について

平成19年3月15日、公共関与事業推進会議の津嘉山正光会長が仲井眞知事に対し、「公共関与による産業廃棄物最終処分場の整備」に向けた事業主体の設立と立地候補地の選定に関する検討結果を報告しました。

沖縄県知事

仲井眞 弘多 殿

### 公共関与による産業廃棄物最終処分場の整備に向けた 検討結果について（報告）

公共関与事業推進会議では、平成17年6月から、公共関与による産業廃棄物最終処分場の整備に向けた事業主体の設立と立地候補地の選定について調査・検討を行ってまいりましたが、この度、その結果がまとまりましたので、報告いたします。

- 1 事業主体の設立については、官民協調の第三セクターのあり方、公共と民間の役割・リスク分担、中核事業者の選定、事業採算性等について調査・検討を行い、事業実施に向けた基本的考え方をとりまとめました。
- 2 立地候補地の選定については、自然環境・生活環境への影響や土地利用との整合等を考慮し、段階的に絞り込みを進め、本部町崎本部、名護市安和、浦添市伊奈武瀬の3箇所を最終立地候補地として選定しました。
- 3 選定した最終立地候補地については、いずれも処分場の立地に適した場所と考えられ、中長期的な処分場の確保も念頭に置き、継続的・安定的な事業の推進に資するよう努める必要があります。
- 4 産業廃棄物最終処分場の用地の決定にあたっては、循環型社会を支える社会基盤施設として、今後、市町村や地域に対する十分な説明に努め、その理解と協力が得られるよう、一層の取り組みが求められます。

平成19年3月15日  
公共関与事業推進会議  
会長 津嘉山正光

## 「公共関与事業推進会議」検討結果の報告について

平成19年3月15日

### 知事コメント

- 公共関与による産業廃棄物処理施設の整備に関する検討につきましては、津嘉山会長をはじめ、委員の皆様方には、専門的かつ幅広い観点から、2年間に亘り、熱心にご検討をいただき、厚く感謝申し上げます。
- ただいま、会長から御報告をお受けしましたが、推進会議の御提言を踏まえ、地元市町村や地域の理解を得ながら、経済産業団体や関係者と一体となって、安全・安心なモデルとなる最終処分場の整備に取り組んでまいりたいと考えております。
- 公共関与事業につきましては、県政の重要な課題の一つであり、庁内の連携をさらに強化し、全庁を挙げて事業の推進を図ることとしておりますので、今後とも、ご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。